

No.	項目	質問事項	回答
1	実施要領	<p>プレゼンに使用する資料は、先に提出した提案書になりますでしょうか。もしくは、先に提出した提案書とは別途、説明用のパワーポイント資料などを作成して説明を行うことも可能でしょうか。</p> <p>上記に関連して、提案書とは別途、パワーポイント資料を作成した場合、事前に資料を提出する必要があるでしょうか。</p>	<p>選定委員会においては、ご提出いただいた紙の提案書を選定委員に配布します。</p> <p>そのため、先に提出した提案書データに基づきご説明ください。</p>
2	実施要領	<p>プレゼンテーションは、資料のみで実施するのでしょうか。パソコン画面の投影も可能でしょうか。</p>	<p>選定委員会においては、ご提出いただいた紙の提案書を選定委員に配布します。</p> <p>また、あわせてご提出いただいた電子データをスクリーンに投影のうえ、ご説明いただくことを想定しています。プレゼンテーションの開始時間、開催方法の詳細は提案者に後日通知します。</p>
3	実施要領	<p>企画提案書はパワーポイントで作成してよろしいでしょうか。</p>	<p>問題ありません。</p> <p>投影するスクリーンの比率は4：3を想定していますので、講演資料は同比率のものをご提供ください。</p>
4	実施要領	<p>質問書提出企業数を教えて頂けないでしょうか</p>	<p>質問書の提出があった企業は7社です。</p>
5	実施要領	<p>選定委員は何名程度いらっしゃるのでしょうか</p>	<p>選定委員は委員長を含む4名で構成しています。</p>
6	実施要領	<p>「9. 評価方法」の「能力」に示される発電事業主体は洋上風力発電の事業者でよろしいでしょうか。</p>	<p>業務内容の(3)「洋上風力発電の事業主体(サプライヤー)」を指しています。</p>
7	実施要領	<p>『委託料は、事業の実施に必要な全ての経費を含むものとし、原則として領収書等で確認できるものを対象とします』とされておりますが、成果物等の検査完了後、領収書等の確認により経費を確定されるお考えでしょうか。</p>	<p>報告書とともに、使用した経費の内訳及びその実績額が確認できる領収書等をあわせてご提出いただき、その内容を県にて確認することで、検査完了(受託者からの請求額確定)とすることを想定しています。</p>
8	仕様書	<p>「(1)文献調査」について風力発電の最新動向等についてとありますが、洋上風力発電の技術開発動向調査が主な目的との認識でよろしいでしょうか。</p> <p>調査の主な対象は、陸上風力は含まず、洋上風力発電の着床式・浮体式が含まれるとの認識でよろしいでしょうか。</p> <p>また、国や自治体の制度の調査は含まれないとの認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>現状その認識で問題ありませんが、受託者からの提案内容を参考に、県と協議を行ったうえで、最終決定するものと想定しています。</p>
9	仕様書	<p>風力発電の「事業主体」という文言からは、電力の供給(サプライ)事業者=電気事業者と受け取ることができますが、ヒアリング指示内容を踏まえると、風車</p>	<p>続く県内企業向けアンケート及び県内企業ヒアリング調査をより効果的に行うために、どのような事業者</p>

		メーカーや基礎工事等の風力発電事業のサプライチェーン（調査・製造・設置・O&M）を担う事業者とも考えられます。ヒアリング対象事業者として想定されている事業者はどちらでしょうか。	がヒアリング先として望ましいのか、また想定されるのか、提案者のこれまでの業務実績やノウハウ、ネットワーク等を生かし、幅広にご提案をいただければと思います。
10	仕様書	「(4) 県内企業向けアンケート」の「県内の関連業種の企業」は、県内に本拠地がある企業だけでなく、県内に支店がある企業も含むとの認識でよろしいでしょうか	その認識で問題ありません。
11	仕様書	「(4) 県内企業向けアンケート」については、2,000 通程度を想定しているとのことですが、発送を想定している県内企業はありますか。また、想定している県内企業がある場合、その企業リストは開示頂けますでしょうか。	原則としては、提案者にて効果的なスクリーニングの提案・調整を行っていただくことを前提としています。 ただ、県と受託者との間で随時協議・確認を行いながら進めていくことを想定していますので、必要に応じて、県のリソースを活用することはあり得るものと考えています。
12	仕様書	「(5) 県内企業ヒアリング」について、今回の調査業務委託のターゲットで「調査」の分類は、風況調査、環境アセスメント、地質調査等洋上風力発電に関する主要な調査という認識でよろしいでしょうか。	その認識で問題ありません。 実際のヒアリング先については、文献調査や専門家・洋上風力発電の事業主体（サプライヤー）へのヒアリング結果を参考に、県と受託者との間で随時協議・確認を行ったうえで、最終決定するものと想定しています。
13	仕様書	「(5) 県内企業ヒアリング」について、今回の調査業務委託のターゲットで「製造」の分類には、ナセル内機器、ブレード、タワー、基礎の主要機器に係るものという認識でよろしいでしょうか。合せて、着床式・浮体式に係るものとの認識でよろしいでしょうか。	その認識で問題ありません。 実際のヒアリング先については、文献調査や専門家・洋上風力発電の事業主体（サプライヤー）へのヒアリング結果を参考に、県と受託者との間で随時協議・確認を行ったうえで、最終決定するものと想定しています。
14	仕様書	ヒアリングに応じていただいた専門家・サプライヤー・事業者等への謝金支払の有無につきまして、既に検討されていればご教授ください。	謝礼の支払い有無については、ヒアリング対象によって判断が分かれるものと考えていますので、県と受託者との間で随時協議・確認を行いながら進めていくことを想定しています。 ヒアリング先として謝礼が必要な場合（謝礼を支払うことでより効果的なヒアリングを行うことができる、権威ある有識者の方にヒアリングを行う等）は経費に含めていただいて構いませんので、まずは提案者が想定するヒアリング先に応じてご

			検討ください。
15	仕様書	ヒアリングやアンケート調査において対象企業へ協力依頼をする際、貴県からの委託で調査を行っている旨は開示しても問題ないでしょうか。貴県からの委託であることを明示できると協力頂ける企業は増えると考え、ご確認させて頂いております。	問題ありません。
16	仕様書	『本業務の結果をまとめた報告書について、紙媒体で10部提出するとともに、USBメモリー等の電子媒体に保存し、電子データでも提出すること』とされております。紙媒体について製本の必要はありますでしょうか。また、電子媒体についてCD-R等の記録ディスクの使用の可否及び納入数について、ご教示をお願いいたします。	紙媒体については、簡易製本で問題ありません。 電子媒体については、CD-R等の記憶ディスクの使用で問題ありません。また、納入数は1つを想定しています。
17	仕様書	紙媒体納品10部について、簡易製本で問題ないでしょうか。また、色は白黒で問題ないでしょうか。	簡易製本で問題ありません。 色については、グラフや写真データ等を用いることが予想されるため、カラーでご対応ください。
18	仕様書	『報告書提出後は、県と日程調整のうえ、報告書に関する説明会を行うこととする』とされておりますが、同報告会は貴県のご関係者のみを対象とするものでしょうか、それとも福岡県風力発電産業振興会議の関係者等もまじえた相応の規模のものを想定されておりますでしょうか。また、同報告会の開催は契約期間外のものとなりますが、想定される経費等について業務費用に含むことは可能でしょうか。	仕様書に記載の報告書に関する説明会については、現状、本県関係者のみの参加を想定しています。 また、同報告会に係る費用については、経費に含めていただいております。
19	仕様書	説明会における説明は、経費の範囲内で受託者が企画・実施するのでしょうか。	報告書に関する説明会については、経費の範囲内で受託者が実施するものです。
20	仕様書	説明会の資料は経費の範囲内で別途作成が必要でしょうか。	説明会の資料については、ご提出いただく紙媒体の報告書を想定しています。
21	仕様書	再委託について、貴県の定義はございますでしょうか。弊社では、外部の調査会社の利用等（外部コンサル会社やアンケート調査会社等）は再委託に含まれ、インタビュー紹介会社のサービス利用（ビザスク等）は再委託には含まれないと認識しておりますが、齟齬ございませんでしょうか。	仕様書の「第8 再委託の取り扱い」のとおり、受託者は事前に県の承認を得たうえで、必要に応じて委託業務の一部を第三者に委託することができるとしていますので、いかなる委託先であっても事前に県への報告をお願いします。
22	仕様書	再委託する際、ご契約金額全体に対する再委託費比率に制約はございますでしょうか。	制約はありませんが、仕様書の「第8 再委託の取り扱い」のとおり、受託者は事前に県の承認を得たうえで、必要に応じて委託業務の一部を第三者に委託することができるとしていますので、いかなる委託先であっても事前に県への報告をお願いします。